

講師のひとりごと

『紙幣のモデル』

先日の管理者実践でのコマです。即答訓練で、講師が「新しい紙幣の肖像画に選ばれた人を三人答えてください」と聞くと、ある主任は「えーと、確か新渡戸・、」、またある部長は「絶対、またある課長は起立するスピードを遅くして考え時間を稼ごうとする状態で、残念ながら研修生全員が答えられないという事態でした。」

正解は、千円札は北里紫三郎、五千円札は津田梅子、一万円札は渋沢栄一ですが、講師から改めて誰に変更されるかを話したところ、津田梅子って何をした人だったの？といった状況でした。

お褒め図書のコナー

『メモの魔力』前田裕二 幻冬社

「あなたはこういう人間ですか？」「何がしたいのですか？」「一番大事にしていくのはなんですか？」と、突然聞かれてもなかなか答えられないものです。それだけ自分のことをよく知らないまま生きていくのかもしれない。大きな判断を求められると、迷ったり、ブレたりしてしまうことがあります。自分が分かっている明確な価値観や死生観に沿って、正しい方向に向かっているのかが出来る、いわば「人生のコンパス」を手に入れることが出来るかと語る著者。そして自分を知り、確固たる「人生のコンパス」を手に入れるツールとして強い力を発揮する

一人一人簡単に紹介すると、北里紫三郎は、十八歳で現在の熊本大学医学部に入学し、医学の道を志します。一八八六年からの六年間ドイツに留学し、病原微生物学研究の第一人者であるロベルト・コッホに師事。留学中に破傷菌の純粋培養に成功、そして血清療法を確立。帰国してからは、我が国最初の結核専門病院も開設。またペスト菌も発見し、近代日本医学の礎を築きました。

津田梅子は、一八七二年に若千八歳で女子留学生として渡米。生物学や教育学などを学び、帰国後は女子高等師範学校教授を歴任。その後英語教員、養育院の主任として、女子英語塾、後の津田塾大学を創設し、女子の近代的教養の啓蒙と英語教育に貢献しました。渋沢栄一は、一八四〇年に生まれ、

「読んでおいた方が良いと思いますよ」と某社員から勧められた本書。最近テレビでもよく取り上げられている話題の本です。冒頭から「女性脳の仕組みを知って、戦略を立てよう」と書

二十七歳の時にパリの万国博覧会を見学、外国諸国の情勢に広く通じることになりまし。帰国後は、第一国立銀行の頭取職を皮切りに、株式会社組織による企業の創設・育成に力を入れ、生涯に約五〇〇もの企業に関わったとされています。三人とも明治の時代を生き、近代日本の医療、教育、経済の礎を築いた人物です。

各国の紙幣を見て、肖像画に選ばれる人は、その国の象徴だったり、歴史に深く関わっている人で、知らない名前を聞いたことが無いという事は、自国の歴史について関心が無いという事と同意語ではないかと思えます。これを機会に、改めて自国の歴史や偉人に目を向けてみてはいかがでしょうか。

かれており、戦々恐々とはしますが、よくよく考えてみると、妻とはいっても何かしら駆け引きのようなことをしているような気がしますが。家事、子供の世話、余暇や記念日の過ごし方等、様々な場面で上手く事を運びたいと思いがちになることがありますが。それは男と女の考え方には大きな違いがあるからなのかもしれません。それを理解しないまま、なぜ分らないのかとストレスを抱えたり、強引に男の考えを押しつけて関係を悪くしたのでお互いにとって何の得にもなりません。妻と良好な関係を維持するためにも「読んでください」。又、妻の取り扱い説明書としてだけでなく、女性社員の心理を理解するのにも一役買ってくれる一冊です。

編集後記

地元仙台では、七夕の飾り付けが街中のいたるところで見られるようになってきました。七夕といえば織姫と彦星の伝説は誰もが知るものだと思いますが、なぜ年に一度七夕の日にししか逢えなくなったのか存じでしょうか。

事の始まりは、めでたく夫婦となった織姫と彦星でしたが、夫婦生活が楽しく、織姫は機を織らなくなり彦星は牛を追わなくなった。このため天帝は怒り、二人を天の川を隔てて引き離した。年一度、天の川に七夕だけ逢うことを許し、天の川に橋を架けた。逢うことが出来るようになったという事です。

しかし、七月七日に雨が降ると天の川の水かさが増し、織姫は渡ることができず彦星も彼女に会うことが出来なくなってしまうのです。地元仙台は織姫の時期、七夕一色となり街並みも綺麗に飾り付けられます。八月六日、皆様も是非三大七夕の一つと言われている仙台七夕に足を運んでみてはいかがでしょうか。伝説を知ってほしいから、また違った見方で楽しめるかも知れません。 閃光 編集部

閃光

令和元年 葉月号



「厳しさの本質」

昨今、会社や学校でのパワハラ、親からの虐待等のニュースを見るたびに、胸が締め付けられます。なぜ、嫌がらせやじめ、暴行等の連鎖を止められないのでしょうか。また、このような事件の報道を見る度に「厳しさ」悪」という社会の雰囲気を感じますが、居心地の悪さを感じます。「厳しさ」の表現として暴力やいじめがあるわけではない、と私は思います。むしろ全く別物であって、いかなる理由があっても体罰や恐怖によって人を支配することは許さず、受けた側は心身ともに大きなダメージを受けてしまいます。

一方相手を思う優しさからの厳しさは、後にその人を成長させてくれる土台となります。例えば好きなものだけでなく、嫌いなものも食べることで栄養が整い、バランスの良い身体ができるように。小さい頃箸の上げ下ろしまで厳しく教えられたが、どこに行っても恥ずかしくない、というように。厳しさの本質とは、その人の成長を真に願う優しさの表現ではないかと考えます。親は通常は子供より先に亡くなってしまうことが多いでしょう。自分がいなくなっても一人で生きていくように、対処できるように。「この人は自分のために言っている」と、これは、ハラスメントだ。その受け取り方の違いはやはり、お互いの信頼関係ではないでしょうか。信頼関係がしっかりと構築されていれば、多少厳しいことを言われても受け取る側はしつかりと受け止めます。恐れず、決してもらいたいという願う今日この頃です。

ビジネス教育訓練所株式会社

代表取締役社長 高谷 愛美

管理者特訓六日間合宿

五月十三日(月)〜十八日(土)

令和に入ってから初めての管理者特訓が、蔵王の地で行われました。初参加の会社もあり、独特の緊張感の元で行われました。今回は三十歳前後の人が多いためにも関わらず、体力面での研修では苦戦を強いられました。朝のジョギングではほとんど走る事が出来ず歩く人が大半でした。また、四日目に夜間歩行訓練では、歩きながら眠ってしまう、到着して報告を終えた瞬間に緊張の糸が切れてその場に倒れこんでしまう人もいました。そのことから、皆体力の重要性を痛感したようです。

また、知識や思考力を問われる研修では、高い観点や様々な視点からの物の見方が出来ず苦労する人もいました。特に論争訓練では、ビジネスコースの訓練生に論破された場面もありました。自己啓発を全くしていない、一冊ビジネス書を読むかど

参加者の声

六日間の合宿は、朝から晩、寝る時まで目まぐるしく且つ非常に充実して行きました。常に自ら考えて行動し、自分自身を管理し、とても濃い日々となりました。私は管理者どころか社会人としての知識も浅く、合宿に参加する事に不安しかありませんでした。実際に知らない事はばかりで、とても困惑したのを覚えていました。

また、私は元々やるべき事を後回しにする所があったのですが、それが二日目、三日目の審査に頭を出してしまいました。その頃からの合宿は自分の身になる。もっと学びたいと合宿に対する意欲が湧きました。自分が管理者だとしたらと全ての物に対する見え方が変わり、物の捉え方考え方が変わっていきの分が結果、審査を合格した時の記憶はどれもほとんどありません。しかし、今となり思い返すと、その時には分からなかった内容が整理され、自分の力となっていて事に気がつくことができます。六日間の合宿になったと思っておりました。講師の皆様、本当にありがとうございました。



ビジネス教育訓練所(株)

所在地 仙台市青葉区愛子中央3-18-2 TEL 022-392-5511 FAX 022-392-5039 URL http://www.business-k.co.jp

『ジェネレーションギャップ』
研修で様々な年代と接しているジェネレーションギャップを感じない時はありません。何気ない話の際に出てくる当時の流行した歌やドラマの違いに感じる時もあれば、最近話題の体罰を受けた世代がどうやって部下指導に對する考え方に大きな違いがある事もあります。

ジェネレーションギャップ、つまりは経験や当時の状況の違いによって認識の差がある事で話が食い違ってしまう事がありません。教育指導をしていく上ではこのずれをいかに早く埋めるかが鍵となりますが、指導を行う方もしくは受ける場合、年齢が離れている事が多い為、ジェネレーションギャップはついて回ります。だからこそ指導する側は相手の立場や背景を理解しながら接していかなければいけません。

さて、多くの管理者がジェネレーションギャップを強く感じるのは新人が入社してきたときでしょう。今回は新人研修で驚いた二つの出来事について紹介いたします。

一、家の電話を取ったことが無い
携帯電話の普及により、家に電話するよりも個人相手に電話が出来る為、固定電話を取る人が殆どなくなっています。そもそも固定電話が減っている為、見た事すらない人もいます。携帯電話で名前が出る前に相手の名前を覚えておく為、名刺の訓練を行って名前を覚えてもらいました。

二、「当たり前」に大きく溝がある
配膳の際、ごはん茶碗、主菜、お椀の位置が統一されていません。ごはん茶碗は左、主菜は真ん中、お椀は右ですと教えられても「どうなんですか」と初めに聞いたかのような反応です。その背景には、パン食の増加や、家族での食事の減少等があると予測されます。

ジェネレーションギャップとは自分の常識と相手の常識が違う為に起こります。育ってきた環境があまりにも違いすぎていますので、指導する側は相手の状況や環境を考えた必要です。その為にも普段からの何気ないコミュニケーションを大切にしてください。

風薫る五月、宮城、東京から総勢十名が魔王の地へ集まりビジネス特訓合宿が行われました。十名中九名が今年の新卒入社という事もあり、非常にフレッシュな雰囲気でした。研修はスタートしましたが、今回は線の細い訓練生もおらず、皆奮起するものか。精神で講師に立ち向かいました。その為、大きな声を出したり、体力面で不安のある人はおらず、時折ひいてしまう事はあれど、その度にスクラムを組んで取り組む姿が印象的でした。

一方、電話応対や命令の受け方の審査では苦戦する人が多くいました。アル的に対応してしまいうる、事務的な印象を与えてしまっています。いくらか軽々な表現を使用しても、苦戦する人が多いです。

特に電話応対のクレーム電話では、その点が顕著に表れていました。気持ちに油を注ぎ、かえって火を買ってしまった相手の怒りを買ってしまった人もいました。訓練生からは「こが悪いのか尋ねられませんが、気持ちが入っていない、誠意が感じられない」といふ声も聞かれました。研修の冒頭で自己紹介と決意表明を行いました。が、営業未経験者の中には合格することが出来ませんが、マニユアルまで以上に増えたと感じました。

新卒の訓練生の多くは、これまでの人生において目指すべき目標やそこに至るプロセスを教えられることが当たり前の状態になってきたようです。ですので自ら考えろと言われても難しいのかも知れません。しかし、仕事はお客様が一つ一つ正解を教えてくれるわけではありません。相手の反応から次にどのようにするべきかを自ら考え行動しなければいけない場面が沢山あります。この点において、今回の訓練生は多くの事を学びたいという意気込みを感じられました。



研修の様子

研修の冒頭で自己紹介と決意表明を行いました。が、営業未経験者の中には合格することが出来ませんが、マニユアルまで以上に増えたと感じました。

新卒の訓練生の多くは、これまでの人生において目指すべき目標やそこに至るプロセスを教えられることが当たり前の状態になってきたようです。ですので自ら考えろと言われても難しいのかも知れません。しかし、仕事はお客様が一つ一つ正解を教えてくれるわけではありません。相手の反応から次にどのようにするべきかを自ら考え行動しなければいけない場面が沢山あります。この点において、今回の訓練生は多くの事を学びたいという意気込みを感じられました。

清々しい初夏を迎えた六月上旬、営業マン特訓五日間合宿が開催されました。今回は、コム・ブラステック販売、防务工事、ソフト開発の企業から参加があり、営業経験者と営業未経験者が集まりました。

研修の冒頭で自己紹介と決意表明を行いました。が、営業未経験者の中には合格することが出来ませんが、マニユアルまで以上に増えたと感じました。

新卒の訓練生の多くは、これまでの人生において目指すべき目標やそこに至るプロセスを教えられることが当たり前の状態になってきたようです。ですので自ら考えろと言われても難しいのかも知れません。しかし、仕事はお客様が一つ一つ正解を教えてくれるわけではありません。相手の反応から次にどのようにするべきかを自ら考え行動しなければいけない場面が沢山あります。この点において、今回の訓練生は多くの事を学びたいという意気込みを感じられました。

でも寝ることなく、商談の前半部分では多少苦戦したものの、商品説明からクロージングと流れてよく行い、断りに対してもしっかりと対応していただきました。規定内営業は延長となり、自分の弱さと向き合うことになりました。

ある訓練生は、笑いながら話す、曖昧な表現をする、上から目線での発言等改善するまで苦戦しました。又ある訓練生は、シナリオを考えて審査に臨むも予想と違う反応が返ってくるという状況に臨み、臨機応変に対応できず苦戦しました。時には涙を流す場面もありましたが、そこで気持ちが切れて、粘り強く商談に臨むことが出来ました。自身の弱点と向き合いながらも、乗り越えたことは大きな自信と変わったようです。

雨

梅雨が長引いてジメジメとした日が続いていますが、ようやく梅雨明けが宣言された地域が増え夏らしい天気になっていくように感じます。近年は様々な異常気象によりゲリラ豪雨等の局地的な強い雨の印象が強く、梅雨らしいしとしとした雨が少なかったのではないのでしょうか。調べてみると雨にも様々な種類がありますので今回は数多くあるうちのいくつかを紹介いたします。

- 強い雨
 - ・大雨(おおあめ)
大量に降る雨。大雨注意報の基準を超える雨。
 - ・ゲリラ豪雨(げりらごうう)
限られた場所に短時間集中的に降る、急激な強い雨。
 - ・集中豪雨(しゅうちゅうごうう)
限られた場所に集中的に降る激しい雨。警報基準を超えるような局地的な大雨。
 - ・鉄砲雨(てっぽうあめ)
大粒の、鉄砲のような強烈な雨。
 - ・篠突く雨(しのつくあめ)
細い竹や篠で突くような、激しく降る雨。
- 弱い雨
 - ・小雨(こさめ)
それほど長くない時間降ってやむ弱い雨。総降水量1mm未満。
 - ・細雨(さいう)
あまり強くなく、しとしと降り続く雨。
 - ・小糠雨(こぬかあめ)
音を立てず静かに降る、糠のようなとても細かい雨。
 - ・涙雨(なみだあめ)
涙の如く、ほんの少しだけ降る雨。
 - ・狐の嫁入り(きつねのよめいり)
太陽が出ているのに降る雨。「天気雨」と同義。

ちなみに、最近よく聞くゲリラ豪雨ですが、最も古い記録では1969年の読売新聞にその名称が使用されています。歴史は意外と長いですが、正式な気象用語ではありません。従来の用語だと俄雨(にわかあめ)や集中豪雨、夕立といった言葉が当てはまります。また、季節ごとにも様々な雨の種類があります。普段何気なく眺めている雨ですが、名前を知ることで更に興味がわいてきたりもします。ぜひこれを機会に雨だけでなく、身近な興味を持ったことについて詳しく調べてみませんか。

八月の研修のご案内

管理者実践四日間合宿
八月二十一日〜二十五日

企業を伸ばすも潰すも、部下を生かすも殺すも管理者次第。管理者の皆様にはそのくらいに気持ちを持って仕事に臨んで欲しい。しかし、気持ちだけでは心許ないものです。この管理者実践四日間合宿では、管理者としての下地を固めるため、カウンセリングやスピーチ、部下の

九月・十月の研修のご案内

管理者実践六日間合宿
九月十三日〜十八日

管め方・叱り方などを実践的に学んでいきます。また、管理者として自信が無いという方にはお勧めです。

●ビジネス特訓四日間合宿
九月十三日〜十六日

●管理者特訓六日間合宿
九月十三日〜十八日

営業マン特訓五日間合宿

マネー実践三日間合宿
十月十五日〜十七日

●マネー実践三日間合宿
十月十五日〜十七日

●管理者実践四日間合宿
十月十五日〜十八日



鉄は使わなければ錆びる。
水は澱んでいけば濁り、寒空には凍ってしまう。
ましてや怠惰でいれば氣力さえも失われる。

—レオナルド・ダ・ヴィンチ—